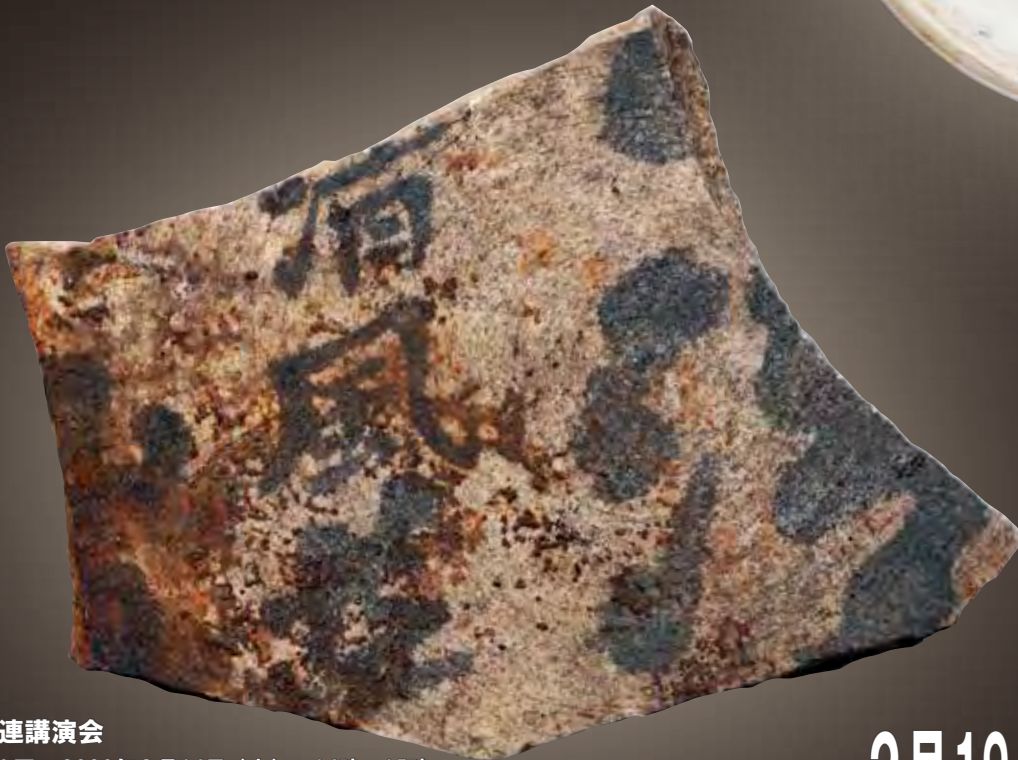




# 文化財発掘VI

— 幕末・近代の出土文字資料 —



## 関連講演会

第1回 2020年3月14日(土) 14時～15時

笹川尚紀(京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター)

「田中関田町遺跡からみつかった近代の遺物について」

—出土文字資料と文献史料にもとづく考察を中心に—

第2回 2020年3月28日(土) 14時～15時

伊藤淳史(京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター)

「近・現代の考古学と京都大学構内遺跡」

※場所はいずれも総合博物館本館3階の講演室

参加無料(ただし、博物館への入館料は必要)

※両日の13時～16時に、尊攘堂(京都大学本部構内/総合博物館南側)を公開します。京都大学構内から出土した遺物の展示をリニューアルしておりますので、ぜひご覧ください(無料)。

2020年 2月19日(水)～4月19日(日)

9時30分～16時30分(入館は16時まで)

休館日 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)

観覧料 一般400円 高校生・大学生300円 小学生・中学生200円

※20名以上の場合は団体観覧料が適用されます。

※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名、70歳以上の方、京都大学学生および教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明証)

主催 京都大学総合博物館

京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター

京都大学構内の地下には、たくさんの遺跡が残されています。それらから出土した遺構・遺物等を紹介する、シリーズ「文化財発掘」の6回目は、幕末・近代における出土文字資料を主題としています。

発掘調査の結果、同時期の文字を墨書・釉書き・印刻した土器や陶磁器・瓦などが、数多くみつかっています。この度は、幕末・近代の京都大学構内を特徴づける、土佐藩白川邸・第三高等学校・京都帝国大学・清風荘等に係わる資料を中心に、展示をおこないました。そしてまた、文献史料などを参考にすることで、それらの文字が意味するもの等について、検討を加えています。

以上のような出土文字資料などを通じて、それぞれの歴史を深く知っていただければ幸いです。あわせて、今回の展示を一つのきっかけにして、新しい時代の出土文字資料にも広く関心が向けられ、ひいては、その研究が進展することを大いに期待しております。

なお、この度の展示から、文化財総合研究センターの職務を昨年4月に継承した、大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センターが企画しています。



「中佐」の刻印銘瓦（北部構内）



「瀬 716（統制番号）」（吉田南構内）



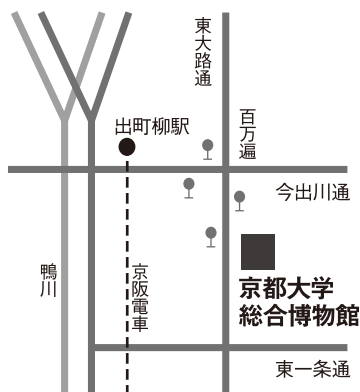
「医院」の円形意匠（病院構内）



「賄」「府立」の円形意匠（病院構内）



「府立医大」（田中関田町遺跡）



### 交通案内

#### ●市バス

JR／近鉄京都駅から17・206系統  
阪急京都河原町駅から3・17・31・201系統  
地下鉄烏丸線今出川駅から201・203系統  
地下鉄東西線東山駅から31・201・206系統  
「百万遍（ひゃくまんべん）」下車徒歩約3分

#### ●京阪電車

「出町柳（でまちやなぎ）」駅下車徒歩約15分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL (075)753-3272  
FAX (075)753-3277  
info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp  
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

### 表面写真

「大学」の円形意匠（本部構内）  
「京都帝国大学寄宿舎」「美濃窯業」（吉田南構内）  
「<sup>(備)</sup>風荘」（田中関田町遺跡）